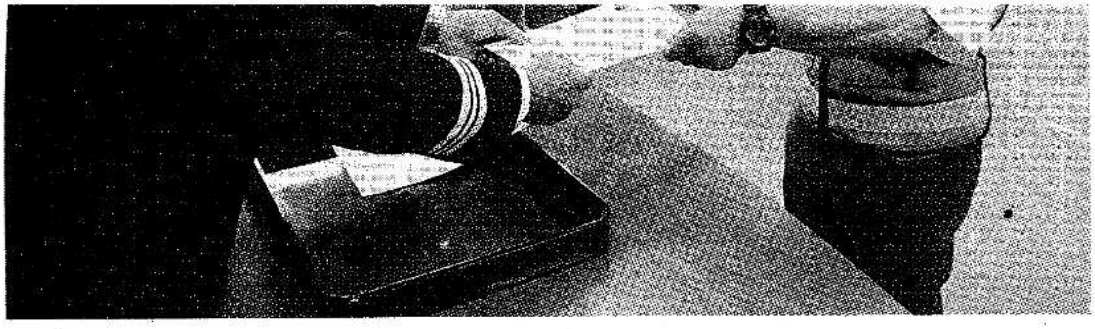
ルス地区に3人



人団員ら

登別

登別市消防団（野呂力之丈団長）は、主に災害対応に活動内容を限定した機能別消防団員の運用を本格的に始めた。登別・カルルス地区で勤務する男性3人が機能別消防団員として新たに仲間入り。同地区での防災力向上が期待される。（石川昌希）

消防団員は、火災が発生した場合の初期消火に加えて、大規模災害での避難誘導などの活動をはじめ、各種大会、緊急出動に備えた訓練、予防啓発など多岐にわたる。

近年は災害が多発するなど消防団員が出動するケースも多い。負担軽減に加えて、仕事や家庭の事情により難しい場合でも参加しやすい制度として期待されているのが機能別消防団員。4月から運用を開始しており、市街地から離れている登別温泉、富士両分団に配置する。

市消防署東支署（中登別町）で14日、新入団員である高木光好さん、石澤満さん、小山内明彦さんの辞令交付式が行われた。3人はいずれも湯元オロフレ荘（カルルス町）に勤務していることから、登別温泉分団に所属。カルルス地区で災害などが発生した場合にはいち早く駆け付けて初期対応に当たるなど地域防災力の向上が期待される。

交付式で、あいさつに立った野呂団長は「人口減、団員減で厳しい情勢だが、安全安心の旗印を掲げて活動を広げなければいけない。災害発生時には初動が大事。奮起を期待します」と話した。3人はいずれもフロント勤務で、高木さん、石澤さんは「団員が少ないと聞いていたので協力できれば」と語った。

消防団員数は現在135人（定員161人）。

消火栓の延命化強化

市消防本部、業者が点検

登別

登別市消防本部は本年度、市内に設置される消火栓の延命化対策を強化した。消防職員による従来の点検のほか、劣化が激しい消火栓は専門業者が点検＝写真。火災発生時に向けて万全の体制を整えている。

市内に設置されている消火栓は545カ所。このうち、耐用年数を超える消火栓は多いという。点検は消防職員が毎年5～7月に実施してきたが、消火栓の老朽化が進む中、本年度は富岸町や柏木町などの消火栓5本を業者が点検した。

新川町の住宅街では12日、約1時間半かけて消火栓1本の部品を交換したり内部を清掃した。最後に消火栓が正常に使えるか機能を確かめた。猪股昌史警防主幹は「今後も毎年、業者による点検を計画的に行い、維持管理を徹底させていきたい」と意向を示した。（林帆南）

今

16日に年中児の担任らが緑風園を訪れて、職員に贈呈した。同幼稚園では今後、お遊戯の様子を収めたDVDも届ける計画という。（石川昌希）

市

登別

登別市の小笠原春一市長は、神奈川県海老名市を訪

誕生（登

センターにも足を運んだ。

海老名運動公園では、登別市から寄贈を受けたポニー「チョコエビー」が今年

きょうの催し

【教室】★運動教室体ほぐし教室初夏コース（10時、室蘭市保健センター3階）

【説明会】★福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物処理方針市民説明会（18時半、室蘭市民会館）

【祭り】★夏祭り（10時、登別・鷲別子育て支援センター）

【集い】★お楽しみ会水遊び（11時、登別・富岸子育てひろば）

※おことわり　催しは中止、延期の場合があります。

◇中部支社来訪（19日）

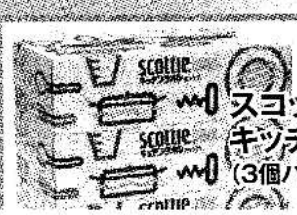
【就任あいさつ】▽国際ソロプチミスト登別会長　田中ルリ子氏▽同副会長　山田則子氏

01）②割出義則（102）③佐藤俊勝（105）④成田秀夫（同）⑤内山一三（106）⑥奥田尚弘（同）⑦本田勝幸（107）⑧合田昭（同）⑨藤井利雄（108）⑩兼近修二（109）⑪栗林弘（同）⑫俵谷勝美（110）

▽女子　①川田陽子（105）②池田ミサ子（111）③住吉静子（114）④細川美恵子（116）⑤菊地富子（119）⑥西亦麗子（120）⑦武田信子（同）⑧本庄貞子（同）

日本製紙クレシア キッチン用紙製品

自宅お届けサービス 無料



K-1

スコッティ
キッチンタオル
（3個パック）